



各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館に親しみ、利用できる。 	第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の本を読もうとする。 ・進んで図書館を利用して調べようとする。 	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して知識を増やし、心情を豊かにする。 ・目的に応じて図書館を適切に利用する。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読み物を進んで読もうとする。 ・図書館を正しく利用できる。 	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の幅を広げ、進んで読み、読書量を増やす。 ・調べ学習に意欲的に取り組む。 	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な読み物を選んで読む習慣を定着させる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 各教科の目標を達成する中で、学習センターとしての学校図書館の意義を踏まえ、積極的・計画的に学校図書館を活用した学習を行う。
- 調べ学習のスキルを身に付け、学校図書館を活用し、情報を処理する能力を養う。

〔読書科〕

- 自分で選んだ本を読み、その内容を理解できるようにする。
- アニメーションやブックトークを通して、読書の良さが分かり、自分が見付けた疑問について、主体的に学んでいこうとする態度を育てる。

〔特別活動〕

- 学級活動を通して、学校図書館の利用の仕方や情報の適切な活用方法を身に付ける。
- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。

〔総合的な学習の時間〕

- 課題を設定し、図書館を活用しながら、段階を踏んだ調べ学習を行い、情報活用能力や主体的な学習態度を養う。

〔特別の教科 道徳〕

- 様々な資料を使って、道徳的心情を豊かにし、道徳的实践力を高める。

〔家庭・地域との連携〕

- 読み聞かせボランティアや環境整備ボランティアと連携し、読書環境を充実させる。
- 公共図書館や学校司書との連携を密にし、資料の充実を図る。

朝読書・昼読書の推進

国語科関連図書の充実

学習情報センターとしての図書環境の整備・充実